

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年11月25日

事業所名 すまいる・ツリー

職員数 7

回収数 7

回答率 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
境 ・ 体 制 整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				
	2	職員の配置数は適切である	7				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	1	階段には手すりなどついたりしながら、利用者の安全が守れるようにしている。	
業 務 改 善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	2		毎日帰りの送迎終了後、その日の振り返りを職員全員で行い、特記事項や利用者支援についての話し合いを実施している。複数の職員が意見を話すことで、個別での支援方法や活動内容の見直しができるようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	2	練馬区の監査受け入れ及び業務改善を行っている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
適 切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3			長期休みや短縮時程の早い来所の際には、個々の課題に対する支援が行えると良いと考えている。来年度に向けて職員間で実施方法を検討中。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		保護者のニーズや施設での様子等を踏まえて計画案を作成し、面談や書面にて保護者に確認をもらっている。	

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認して	7				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2		前後期の個別支援計画書作成に伴い、保護者から聞き取り等を行っている。コロナの影響もあり、書面、電話等で行った。	今後は対面での面談を主としてやっていきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	6	1			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	2	医療的ケア児の利用なし。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	1	すまいる・ステップより移行する子ども達を対象に引継ぎ会議等の情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6		1	今年度は法人内の就労継続支援B型事業所への入所が決まった利用者の引継ぎ会議を行う予定。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	2	練馬区が開催している外部研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			7		情勢的にコロナが落ち着いたら交流会の開催等の検討を考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持って	6	1			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	5	ペアレントトレーニングの実施は無いが、年2回の面談や、送迎時に相談事や困り事などを伺い、必要に応じて個別の面談を行っている。		
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				

護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	3		保護者会はコロナの影響で2年程開催出来ていないが、来年度は開催を予定している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1			
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	4	コロナ禍という事もあり出来ていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		契約の際に大規模災害発生時の対応、該当月の15日に災害伝言ダイヤル(171)・Twitter体験は行っていたが、緊急対応、防犯、感染対応の周知は出来ていない。	年に1回、配布物等を通して、各対応方法の周知や説明を行うよう検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			年に2回、事業所内で虐待防止研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		1	対象となる利用者の保護者に伝え、個別支援計画書に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		3	保護者からの聞き取りにてアレルギーの有無を確認している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			毎月の施設内会議で全職員間での共有を行っている。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○回答数に満たない項目には無記入が含まれます